夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢
郵稅 一個月 金五十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 三〇〇〇・三三五二番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

鐵路幹綫 [illegible]

貴族院に於る現政府鞭撻案
各派一致で可決されん

〔東京廿三日發聯通〕貴族院の政府鞭撻決議案は二十四日本會議劈頭に上程、研究會の松平賴壽伯を起たしめ、提案理由の説明を爲し公正會其他の贊成演説ありて可決する事になつたが、同決議案の內容左の如し

△時局に關する決議案
貴族院は政府が外は滿洲國に對する既定方針を貫徹すると共に、新なる國際情勢に適應する政策を樹立し、以て東洋平和を確保するに遺憾なきを明し、內は諸政を釐改統制し財政の強化を圖り、以て國運の伸張に資し、文教を盛にして國民精神の作興に努むるは、邦家の急務なりと認む
右決議す

廿三日の兩院
衆議院

〔東京廿三日發聯通〕廿三日の下院本會議は午後二時五分開會、直ちに日程に入り、昭和五年度歲入歲出決算案外六件を

『一括』上程し決算委員長山崎猛氏より報告、此時珍らしくも尾崎行雄氏が久方振りに議場に姿を見せる報告終つて國同の鈴木正吾氏修正動議を提出したが、採決の結果修正動議は少數で否決、委員長の報告通りの承認に決した、次で醫師法中改正法律案、齒科醫師法中改正法律案を一括上程し委員長加藤鯛五郎氏から委員會の經過報告、質疑に入り、土屋清三郎、福田虎龜の兩氏より意見の開陳あり、採決の結果委員長報告通り修正可決 齒科醫師法中改正法律案は原案通り可決確定、次で身元保證に關する法律案を議題とし秋田議長より本案に關する貴院の修正に同意するや否やを問ひ、大多數で之に同意す、次で日程を變更し、都市計畫法中改正法律案を緊急上程、堀川美哉氏から委員會の經過報告あり、委員長報告通り可決、更に日程を變更し、擔保付社債信託法中改正法律案を緊急議題とし、濟瀬委員長から

『報告』あつてその通り可決更に日程を變更、教育改善に關する建議案を上程、安藤正純氏起つて教育の確立、教育の實際化、大衆教育の確立、教育の社會政策的施設、精神教育の徹底等を要求し、提案理由を説明する所あり、戸田由羊氏は「本案は見方によれば文部當局の不信任だ」と長野縣下の重大事件に觸れる 鳩山文相は 或る程度の革新は是認出來るが、本案の如き根本革新は調査を要す と逃げ、齋藤總理は「長野縣下の重大事件は調査中である」と答へ、次で討論に入り山桝儀重、井上剛一兩氏贊成の意見を述べ、多數を以て可決、次で警察官優遇建議案上程され、加藤条四郎氏提案理由を述べ、濱野徹太郎、福田虎龜兩氏贊成意見を述べ滿場一至で可決、最後に國民同盟より時局問題決議案の上程を求め、一騒ぎしたが採決の結果問題とならず、五時五十七分散會した

貴族院

〔東京廿三日發聯通〕廿三日の貴族院本會議は午前十時十八分開會され米穀統制案を酒井委員長審査報告し、阪谷男特別委員會で後藤農相は米穀法特別會計で一億八千萬圓の損失をしてゐると説明したがその責任は何とするか、初めから收支が償はぬから特別會計に當嵌らず一般會計に入れるべきで、今日まで放置するとは國家に對し不忠實であると追及し、後藤農相右損失は會計法違反などの損失でないと逃げたが、更に追及し、これに應じ採決の結果多數で可決確定 次いで關稅定率法中改正法律案、七年度法律第四號中改正法律案を一括議題として委員長梅園子より委員會の報告あつて可決確定、更に八年度法律第三號中改正法律案、海軍工廠智補給に關する法律案、爲韓銀起業資金貸付の爲發行したる興業債券の爲替差損金補塡に關する法律案の三案を一括議題とし、委員長より委員會の報告あり原案通り可決確定、度量衡法中改正法律案も議題とし委員長伊集院子より委員會の報告あり、田中館愛橘氏の簡單なる質問に對し委員長報告通り可決確定午前十一時五十五分散會した

熱河省事情〔六〕

木蘭圍場は熱河承德府界の北に在る、周圍は凡そ一千三百餘支里、その周圍に木柵を設け、柳の木を植えて牆壁としてゐた、(高約二百米の土堤二條、遠を距てて並走す東部內蒙古調査報告)場內は六十九園に分たれ、八旗官兵一千人によつて守られてゐた、そして園場內に於て耕牧し或は樹木を伐り、禽獸を捕獲する事は一切禁止されてゐたのである、(若し禁を犯す者があれば嚴罰された)「木蘭」とは滿洲語「哨鹿」の義である。

この圍場內には野猪、虎等の猛獸や其他色々の禽獸が多く棲息してゐたが、わけて鹿が一番多かつた、それで行圍(巻狩)も鹿を對象として行はれたものである、その方法は中秋以前は牝各々群を爲し中秋以後は牝牡が各々群を離れて自ら牝牡を求める習性を利用したもので、獵者は木で哨子を作り、鹿の首を戴いて夜明けにそれを吹く、そしてその鹿々の聲を聞いて鹿群が集つて來たところを獵者が射て捕へるのである、これが卽ち哨鹿と謂はれるもので、秋分前後が最もその好期に當る關係上、木蘭行圍は多く陰曆八月に行はれた、木蘭秋彌と言はれる所以である。

この木蘭秋彌は、康熙、乾隆、嘉慶帝時代每年或は隔年に行はれ、その時には蒙古內藩の王公、新附の西長等を招待して盛大に舉行したといふ

康熙、乾隆帝は、木蘭行圍を以て、表面士氣を壯にして古風を存せんが爲であると言つてゐたらしいが、實は其の機會を利用して蒙古王公と意志の疏通を計り蒙古を綏撫するのが目的であつたらしい、「本朝撫綏蒙古之典、以木蘭秋彌爲最盛、凡內外各札薩克悉率左右分班扈獵、星羅景從、霧馳雨合、而天子親御玉弧止齊步伐、三驅用禽寓綏遠於訓武。」以上、魏源の說は康熙、乾隆の徹意を道破せるものと言はれてゐる。

清朝に於ける熱河の地位と滿洲國

熱河の沿革は、要するに清朝の行宮及圍場經營の沿革に他ならない。

而して、清朝が熱河地方に於て行宮及圍場經營に力を致した所以のものは、要するに熱河が滿洲、蒙古、支那と境を接し、わけて支那本土とは天險萬里之長城を距てて截然たる境界をなして居た點にある

故に、熱河は平時にあつては清朝の蒙古綏撫の地とされ、又、清朝の鄉土滿蒙の地に於ける前哨部の觀があつた、(滿洲から中原に進出してゐる清朝にして見れば、北京は關內にあり、寧ろ敵地にあると言つてよかつた)而して、一旦緩急の場合、滿蒙の故地に接壤する此の地に於て蒙古內藩及滿洲の子弟を糾合して以て關內の漢民族に當らうと云ふ深慮を藏してゐたものとやうであつた、僅か百萬內外の少數民族を以て數百倍の漢民族を統べてゐた淸廷にして見れば、それは全く無理からぬ事で、此の地を以て中原の統治に失敗した場合の退據地としてゐた事は容易に想像がつくのである、近くは、二十餘年前清朝が滅亡に瀕して、退位の御前會議が開かれた際、內藩蒙古の王公等は、宣統皇帝(現滿洲國執政溥儀氏)を擁して熱河の險要に據り、革命軍を邀撃せんと建言した程である。

今や、滿蒙の地は滿洲國として、滿洲族及蒙古族を包含し、支那本土と完全に對立する國土を形成するに至つたが熱河の政治的、軍事的意義は往年の清朝に於けるそれと、何等異るものではない。

南洋委任統治問題 海軍當局異常に緊張
ドイツ政府の正式聲明に對し重大意見を發表す

〔東京二十三日發國通〕南洋委任統治問題に關しドイツ政府の正式聲明に對し我海軍當局は非常に緊張し、駐獨武官の公報を待つてゐるが南洋委任統治は海に於ける生命線なりと左の見解を海軍軍事普及部發行の「聯盟脫退と南洋委任統治」なるパンフレットで發表してゐる

一、南洋諸島は大戰參加後我海軍が占領せるものにて大戰中イギリスと我國との申合せにより大戰終了後日本領土と約束してゐた

一、しかるにアメリカが參戰の結果媾和會議に發言權を得ドイツ殖民地を併合するのは不可なりと反對せる爲に英、佛、伊は聯盟に代り統治するとの名義の下に分離歸屬す

一、從つてこれが歸屬は聯盟成立前決定せるものにて聯盟が南洋諸島を委任せる譯ではない、聯盟は委任統治國を變更するなどの權利なし

一、要するに聯盟の委任統治とはいふものゝその主權は聯盟になく日本にあり手離すことは無用である

蔣戰意を固め 前後方とも增兵
十九路軍も北上か

〔錦州廿三日發國通〕蔣介石の戰意愈々濃度を加へ、その意圖によつて數日來宋哲元軍は喜峰口西方の馬蘭谷遵化附近に兵力を集結、馬蘭附近長城小關口より進出せんとしてゐる形勢あり、古北口方面では中央直系第二師を南天門石匣鎭方面に集結、更に北平方面よりの增援を待ち攻勢に轉ぜんとして居るが、諸情報を綜合すると十分首肯出來る狀況である又南京無錫の第八師及八十八師の主力も北方に移動を開始する模樣あり、更に嘗て上海事變の第十九路軍を蔡廷楷親ら指揮官として出動し、廣西、福建よりも各一ヶ師北上せしむとの噂がある

平津地方を擧げて 渦卷く政局波紋

〔奉天廿三日發國通〕天津より來奉せる一滿洲人の談によれば、支那國民黨中央黨部は新鄕に河北辦事處を設置し、蔣介石の北上前各委員を任命し、張繼を主席として積極的抗日工作を開始したが、其抗日工作の方法は該辦事處より各委員を山西、察哈爾、山東河南及び平津地方に派遣し、各黨員と連絡を取り抗日團体を組織し、一般市民より抗日義捐金を募集し、飛行機の購入に充て、各都市には抗日義勇軍、防禦軍等を組織し、之等各團体委員に軍事敎練を施し、各地支部軍と協力し徹底的に抗日工作をなすと氣焔を揚げて居る、一方平津地方には白色テロ横行、反蔣各派の策動、中國共産軍の集結、支那各都市の市場獲得を目的とする各國の暗躍今や平津地方を中心とした一個の波紋が全支那に波及せんとして居る

蔣介石を繞る最近の北支政情

學良の沒落近しと見るや、俄然熾烈なるその獨裁辯を發揮し、北支の軍政兩權を一擧に把握せんとしつゝある蔣介石をめぐり、北支の政情は今や如何なる情態を展開しつゝあるか、先づ之が檢討の第一歩として軍事方面の情勢を見るに、長城外線一帶の戰線に配置されある支那軍の配置狀況は古北口方面には中央軍の第二師、第二十五師の主力及び北上中の第四、第八十三師の一部があり此うち第二十五師は古北口前方のハート型陣壁に據り一時頑强な抵抗を示したが我軍の猛擊により約五千を損傷し、その實力は半減して了つてゐる

×

喜峰口、羅文谷、將軍には宋哲元指揮の第三十七、八、九の三個師が、灤河方面には商震軍が配置され、何柱國軍の主力も漸次同方面に移動集結されてゐる、また于學忠軍等東北軍の有力部隊は白河々口より盧台、豐潤、玉田一帶地區に配備されてゐるといふ概況にある

×

[illegible]熱河より長城外に押出された東北軍は軍隊は第百八、師第百十六師、第百十九師、第百三十師の四ヶ師團で乾溝鎭に在つた、第百十六旅を除いては殆んど各師とも全滅に近い慘敗を喫し之等敗走軍隊は宋哲元、商震兩軍の爲めに武裝解除され解消されて了つた

×

之より蔣介石は保定に於ける張學良との會見に於て彼に辭職を强要すると同時に軍の全部、十六個旅を中央にて引繼ぐ旨を言ひ渡し直ちに直系の何應欽をして北上の中央軍を除く東北軍及び宋哲元軍、商震軍等北支全軍の指揮權を與へ先づ表面的には軍權の掌把に成功した、一方中央軍を續々北上せしめ東北軍及び雜色軍の威壓に備へんとしてゐる譯で蔣介石の直隷下にある中央軍をどの位北上せしめ得るか、この兵力量こそ北支の支配者たる蔣介石のバロメーターとなるものであるが、この北上兵力については、南支に於ける廣東派の虎視眈々たる反蔣態度並に中支に於ける共産軍の最近に於ける猛烈なる跳梁振り等複雜なる政情から推して大軍を北上せしめることは不可能な情勢にある、從つて前記の第二、第四、第二十五、第八十三の四ヶ師及び北上說ある第八十七、第八十八並に第三師等で最大限度六ヶ師團位かと軍事通は觀測してゐる、更に蔣介石の對日態度及び蔣と東北軍及び雜色等の關係について觀測するに、學良の沒落の直前、一時巷間には「蔣介石は明敏なる頭腦の持主であるからこの際對內政策の方向轉換を敢行し、日支直接交涉へと步を進めて來るであらう」との觀測がいかにも有力氣に報道されたが、今日までの所左樣な氣配は一寸發見し難い實情にある、否一說には汪兆銘の歸國を機會に依然執拗なる抗日態度を繼續するのではないかとも見られ機を見て對日軍事行動を開始するのではないかとも觀測されてゐる、しかしこの抗日戰に際し中央軍を果して第一線に立てるかどうかも疑問で、現に東北及び雜色軍の將領中には第一線には自分等の軍隊が立たされ自滅を餘儀なくされるのではないかと蔣の意中を忖度し不滿を抱いてゐるものも尠くない模樣である要するに北支の政局は表面蔣介石の手中に歸したるが如き外貌を示してゐるが事實は依然混沌たる狀態を彷徨し、各派反目の暗流へ漲つてゐる蔣介石が今日依然保定に在りて四圍の狀況を睥睨し、北平入りを躊躇しつゝある事情の裏面には、北支の實況が如何に混沌し、些かの油斷も許されない狀態にあるかを推量するに餘りあるものがある

中央常務會議に 汪兆銘行政院長辭任

〔上海廿三日發國通〕行政院長汪精衛は二十三日來滬すると共に自ら、同日南京で開催さるべき筈の中央常務會議に對し病氣の爲め行政院長を辭職したい旨打電した

冷口の敵に 大爆擊を加へ四散せしむ

〔錦州廿三日發國通〕羊を追ふ猛虎の勢を以て出動以來僅々二週間の短時日で廣漠たる熱河全省より全勢力を驅逐された敵は面目問題もあり、頻りに喜峰口に據りて逆襲しつゝある際、一旦冷口を占領した我軍は喜峰口方面に於ける大部隊の逆襲に備へると共に之に徹底的打擊を加へるべく〇〇方面の兵力を一部喜峰口に移駐したが、之を我軍の退却と誤解し、冷口奪還を企圖して冷口南方一帶に大部隊を集結しつゝあるので、我〇〇飛行機では同方面の向井部隊に協力之を殲滅すべく、〇〇機〇〇飯田隊長自ら編隊長となり二十三日午前九時積雪を衝いて出動、〇〇前進飛行場に於て各方面と連絡を執り一氣に冷口に向ひ出發敵に大爆擊を加へて之を四散せしめた

自滅にあへぎ 逮捕近き湯玉麟

皇軍聖戰の一擊に脆くも慘敗熱河省の王座からすべり落ちた湯玉麟は目下豐寧方面にあり、敗走兵三千を搔き集め纖弱なる反抗氣勢を示しつゝある一方、朝陽、赤峰、建平方面の各戰線にあつた第百七旅第百八旅、第三十一旅、暫編騎兵第一旅等の敗殘兵を漸次豐寧一帶の地區に集結せんとしつゝある、しかしこれら各軍の大部分は皇軍の猛擊に擊破、損傷され、これを集結するもその總兵力は五千を出でざるべく、加ふるに彈藥、糧食等は皇軍の急追に遭つてその大部分を放棄して敗走したといふ有樣であるから極度に缺乏し居り戰鬪能力を失つてゐる、湯は現にこれが補充を中央に求めてゐるが中央の湯に對する態度は頗る冷淡なるのであるばかりか現に中央政府は湯の逮捕查辦令を布令してゐるから最早や彼の再起などは思ひも寄らずその自滅は時間の問題とされてゐる

湯玉麟の申込を利用 何應欽が後方攪亂計畫

〔承德廿三日發國通〕豐寧に逃込んだ湯玉麟の部下劉興九軍副長張從雲、富春の兵約二萬は豐寧大閣鎭の附近に集結を終り、湯は最近何應欽としきりに聯絡を取り、日本軍との交戰を條件に、軍費彈藥の供給を受けたしと申込んで居るが、何應欽は此の湯の交涉を利用してこれら軍費彈藥を僞勇軍に借し、後方攪亂に使用せんと計畫して居る

劉景文 自已勢力を固む

〔奉天廿三日發國通〕部下約二千を擁し安奉線幽區に相當根強い地盤を有する劉景文は目下岫巖東北方二十八キロ關門に在るが、最近關門東北五キロの樓子谷に於て附近一帶の各村長を召集し

一、今後附近の小匪賊は自己の部下をして討伐せしむ

一、右に依り各村は自衞費として每月四百五十元宛獻納すべし

一、各村は今後阿片の植付をなし食糧品の縣外搬出を絕對に禁止す

この意味を述べ、各村長の意見をも聞かず之が實施方を强要したと、右は彼の從來の抗日反滿政策が日本軍の神速なる行動により到底成就し得ざるを知り、所謂自已勢力の培力養成に努めるものであると見られてゐる

汪兆銘 結局復職か
中央政府慰留で

〔上海廿四日發國通〕汪兆銘の行政院院長復職に關し本日孫科及顧孟餘が中央政府より懇談に來る筈となつてゐるので相當の紆餘曲折あるべきも汪は結局慰留により行政院長に復職するものと見られてゐる

鄧鐵梅の暗殺團 歸順證明書を持ち 逮捕切拔策を計る

〔奉天二十三日發國通〕鄧鐵梅が日滿要人暗殺團を組織し新京奉天方面に潜入せしめた事は既報の如くなるが、萬一日滿官憲に逮捕された場合の切拔策として此程歸順せる李慶盛一派の歸順證明書を各團員に交付せる事判明して、尚最近右證明書を所持せる便衣隊員が鳳城縣第一區上站地方に現はれ、雞冠山附屬地の警備狀態、地形等の偵察をなして何れにか立去れる事實あり同地日滿官憲では嚴重警戒中である

有吉駐支公使 廿四日に歸朝
日支新局面對策協議

〔上海廿四日發國通〕熱河討伐一段落と共に日支兩國家の關係にも局面轉運が展開さるべき情勢となつて來たので、有吉公使は南京政府を中心とする當方面の情勢を報告すると共に、今後の對支政策の重點に就いて充分なる打合せを遂げ、傍々亡母の一周忌法會に參列する爲岡崎書記官同伴二十四日當地出帆の長崎丸で歸國した

山本內相も 一蓮托生主義
時局に對する閣僚意見一致
首相近く園公訪問

〔東京廿三日發國通〕齋藤首相は廿三日午前十一時より約廿分間に亘り大臣室で「內閣」の長老山本內相と會見し、廿二日高橋藏相と會見し議會後の政局其他につき協議した內容を說明して、山本內相の意見を求むる所あつたが山本內相も時局の重大なるに鑑み、輕擧する事なく、極めて愼重に考慮し、進退は一蓮托生によつて決するに異論なく、茲に齋藤首相兩長老閣僚の間に意見一致するに至つた模樣であり、斯くて齋藤首相はこの決定意見を齎らして近く「園公」を訪問しその所信を披瀝して老公の諒解を求める事となつた

〔東京二十三日發國通〕山本內相は本日午前十一時五分院內で齋藤總理に會見を求め、藏相との會見內容を聽取したしと求めたに對し齋藤總理は高橋藏相の辭任說があるので眞僞を確かめ非常時の愼重態度をとり單獨行動は避けられたいと求め、高橋藏相も同方の通り確信して居る、即ち高橋藏相は總理に對し辭任し度いといふやうな事は絕對に言つたことなし、又傳へられる一蓮托生といふやうな事も言つた事はない、然して齋藤總理は山本內相に議會後辭任するやうな理由はないから時局に對し善處するため此まゝでやつて行くより外はないと語り、山本內相も贊成したと

首相の園公訪問は 大體來月六日頃

〔東京廿四日發國通〕齋藤首相の西園寺公訪問は議會後政局に就き種々臆測が行はれて居る折柄とて各方面より注視の的となつて居るが大体來月六日頃となる模樣である

發言通告の 無視に
國同振肅委員會を脫退

〔東京廿三日發國通〕國民同盟は廿三日の衆議院で、國同提出の議事進行に關する發言通告を議長が無視せる事實に憤激、代議士會を開き議會振肅委員會脫退を決議し聲明書を發表、直ちに秋田議長に對し正式脫退手續きをとつた

本日の兩院日程

〔東京廿四日發國通〕廿四日の兩院は

△貴族院　午前十時本會議を開き日程に入り齒科醫師法中改正案（衆議院修正）の審議を重ね衆議院の修正に不同意につき兩院協議會を要求する事となる可く、次で十件を各委員長報告通り可決、これと併行し各種委員會を開く

△衆議院　午後一時本會議を開き、八年度一般會計歲出財源に充つるため公債追加發行に關する法律案を上程、次で議員提出案外一件委員長報告通り可決、同大委員附託案を六委員長報告後決議案を上程、又午前十時から各種委員會開催の豫定

上京の板垣少將 參謀總長宮殿下に
滿洲國狀況御報告

〔東京廿三日發國通〕昨二十二日上京した、板垣少將は、二十三日午前十時三十分參謀本部に於て閑院參謀總長宮殿下に謁を賜り、熱河に於ける兵匪掃蕩後の北支方面に於ける政情の變化せる一般狀況並に滿洲國の一般狀況に付約三十分間に亘り御報告申上げた後更に次長室に於て眞崎參謀次長、古庄第一、永田第二各部長と會見し、同樣報告の上今後北支方面の情勢變化に伴ふ軍部の對策につき具体的に協議して正午散會したが、同少將は二十二日午後更に陸軍省に於て柳川次官其他と會見して同樣の報告をなすと共に、當面の問題につき種々協議する所あつた

岡村參謀副長 東京入り

〔東京二十四日發國通〕關東軍岡村參謀副長は昨日午後四時五十五分東京驛着入京したが、關東軍今後の態度につき重大使命を有するものとして注視されてゐる

松岡全權一行 廿二日紐育到着

〔ニューヨーク二十二日發國通〕松岡全權一行は愈々二十三日ニューヨークに着くので米國務長官は萬一を慮りニューヨーク警察に嚴重警戒方を命令した、松岡代表はルーズヴエルト大統領とも會見する筈である

軍縮會議一般委員會 復活祭にも休會せず

〔ジュネーヴ二十三日發國通〕本日午前開會された軍縮會議一般委員會で復活祭休日の爲軍縮會議を即時休會すべきか否かの問題が討議されたが、何人も發言せず、結局委員會は依然討議を繼續することに決定、僅か三十分で散會した

右の票決に際して英、佛、獨、伊の四大國は討議繼續の投票をなしたことは一般の注目を引いた

右の結果マクドナルド首相提案の新軍縮條約草案は愈々二十四日會議より討議を開始する事となつた

デヴィス氏出發

〔ニューヨーク廿二日發國通〕軍縮會議米國代表デヴィス氏はニューヨーク發ロンドン、パリ經由でジュネーヴに向つた

採算上より見たる（五） 滿蒙牛の輸出事情

四 屠法

屠法には斷頭法、打額法、回回法等があるが新京附近で行はるゝものは斷頭法で回敎徒の手に依つて行はれる之は回敎の僧侶が呪文を稱へつゝ咽喉の血脈を切るものである牛商も屠夫も全部回敎徒であるが、回敎徒は絕對に排他的で豚を食さない。從つて屠豚場とは劃然と區別せられて居り屠夫も全然異つた者である。豚を厭ふ理由は豚は廢物汚物を食するを以て汚らしく豚の皮は革具材料であるのみならず、人間の屍を包んで埋葬すると云ふ理由に依るものあるといふ。

屠殺は何れの地でも朝七八時頃より開始せられるが、勸業公司鐵嶺屠場で見た儘を記述すると次の如くである。

當日朝六時頃より屠殺される牛二六頭は牛追に追はれて屠場の牛舍に入れられ軈て獸醫が來て牛一頭づゝ次室の檻欄に載せ重さを量ると共に檢診をする

檢診は只唇を裏返し其健否を見るもので、重量並健否記帳後一頭宛屠室に追入れられ次に前足を緩かに縛した綱を以て更に後足を縛し其一端を一人が持ち、一人は尾を、一人は角を持ち足を縛した綱を[illegible]して咽喉[illegible]下に放血箱を受けるこの操作は誠に手慣れたもので其早いことに驚く。その時白衣の鐵嶺南關清眞寺の僧侶が青龍刀を以て呪文を稱へつゝ咽喉を次々と切つて行く。頸動脈氣管を切斷するため血は迸ると共に流れ出る。切られた牛は呻く悶へる何と云ふ悲慘な有樣であらう。全く阿修羅である。放血してから一分乃至二分で絕命する。放血した血は牛體量の四・[illegible]%である、放血が濟むと綱を解き第一頸椎部より頭を切り放し、牛體右側肩の杭となる樣にして仰臥にし、皮を剝ぎ腹部を開いて內臟を摘出し牛體を二分する即ち後半には二本の肋骨を附着する樣にする。肋骨が後半身の方にあると[illegible]は肉を[illegible]り其外觀が良好なるとするさうである。肉量を二分すれば[illegible]天井より懸垂してある鉤に掛け次で背に沿ふて一半を更に二分し全體を四個の枝肉とするのである。

五 肉の步合比率

屠殺された牛の枝肉は何程あるか又更にその骨を取り去つたもの即ち精肉は何程有るか之は滿蒙牛の經濟價値を知る爲最も大切な事である。

今鐵嶺臨東倉庫支庫及字品糧秣廠の調査によると、滿蒙牛の成績は屠牛四萬五千頭の平均は三六・二一九%であるが、步當り比率は大體枝肉四五―五〇%、精肉三七―四〇%で內地物に比し成績良好であるとのことである

滿蒙牛枝肉精肉步當表

區別	枝肉%	精肉%
糧秣廠	五一・七	四〇・五
公主嶺試驗場	五二―五〇	―
勸業公司	五二―五〇	―
滿蒙全平均	五二―五〇・三七一	四〇

（備考＝內地牛は枝肉四八・七〇%、精肉三五・九〇%、山東牛は枝肉五〇%、精肉三一%）

屠殺された肉は獸醫が更に臟腑と共に檢査して異狀なければ肉に紫色檢印を捺す。而して或は骨付のまゝ或は骨を除き大連奉天等に輸送するものはこれを布で包み更に枝肉は安全精肉は麻袋に包んで發送する。又箱詰のものは內地に其儘輸出せらるゝものである。

然して麻袋包の精肉は大連に至り二大貫五〇〇匁入の箱詰にされ大連製氷の氷室に於て夏は一週間位冬季では二日位、凍結され冷藏船に積載されて廣島及阪神地方に輸送せられるが、冬季に於ては其儘甲板上に積載して輸送せられる。

牛肉輸出商の損失する原因は多くこの甲板積で大丈夫と思つてゐる時氣候が急激に溫暖になり。遂に到着地に到る迄に腐敗することなどに依るもので、一度斯ることがあると該商は再び立つ能はざる打擊を蒙むるのである。

輸出商も競爭激甚であつて數量大なる爲め百匁何厘を競ひ價格にかても少しでも低廉なるものにしやうとして冷藏船を用ひぬ等無理をなして失敗を演ずる事となるのであつて輸出に用ふる方法に就いては未だ多大の研究を要すと云ふ事である。

鐵路總局でマーク懸賞募集
一等當選は三百圓
應募期は四月二十日限り

今回新に設立された奉天鐵路總局では同局を表徴するマーク圖案を廣く一般より募集する事となつた、募集規定は次の如くである

（一）滿洲國々有鐵道なる事を表徴すること
（イ）車輛、船舶、總局旗、鐵路局旗及徽章に共用し得るものたること
（ロ）隣接鐵路の紋章と明瞭に識別し得るものたること
（ハ）簡明なること
（二）締切期日大同二年四月二十日迄
（三）發表期日大同二年五月十五日
（四）賞金當選圖案一等三百圓二等二百圓、選外佳作薄謝
（五）圖案
（イ）用紙は適宜とし大きさは十五センチ（五寸）角
（ロ）正副二葉送付內一葉には住所氏名を記載し他の一葉には記載せざること
（ハ）圖案は返還す
（六）圖案送付先　奉天鐵路總局總務處宛

戀に狂ふ朝鮮人青年 阿片自殺を企つ

二十三日午後十時三十分頃市內富士町三丁目二十二番地朝鮮料理店東洋軒方雇ボーイ金良麗（二四）は同家奧溫突內で阿片を多量に嚥下し自殺を企て苦悶中を家人が發見し大騷ぎとなり直に同仁病院に收容應急手當の結果一命は取止めた、同人は同家抱へ酌婦洋子コト金玉翠（一八）と情を通じ戀の深間におちいり家人の目をさけて二人は樂しい幾月かを過ごしてゐたが、一ケ月前女はハルビンに仕替したので愛人を失つた金は毎日悶々の日を送つてゐたが、最近女の方からハルビンに來る樣手紙に接したもののハルビンに行く旅費がなく遂に死を決したものである

御恒例 觀櫻御會
四月廿日新宿御苑に於て

〔東京二十三日發國通〕御恒例の觀櫻御會は來る四月二十日新宿御苑に於て行はせらるる旨二十三日仰出されたなほ天皇　皇后兩陛下には於かせられてはお揃ひで新御苑に行幸啓、皇族方をはじめ奉り各國大公使並に文武官夫妻令孃、貴衆兩院議員、民間功勞者その他數千名を召さるる筈と漏れ承る

越ヶ谷御獵場で 外交團第四回鴨獵

〔東京廿三日發國通〕畏き邊りの思召しにより、外交團第四回鴨獵は廿三日埼玉縣越ヶ谷の御獵場で催され、英國大使リンドレー、米國大使グルー兩氏を始め、伊太利、ペルー、アルゼンチンの各代理大公使等廿四名は、午前九時淺草驛發御獵場に赴き、秩父宮同妃兩殿下にも御臺臨一同歡を盡し、正午鴨料理で午餐を拜受、午後も續行、四時五十四分淺草驛着歸京した

奉天の春季大競馬 來る廿九日から

春季競馬開催に就き關東廳に諒解を得る爲め赴旅中であつた奉天競馬俱樂部理事長[illegible]彌太郎氏は今朝歸奉したが、本年度第一回春季競馬は來る二十九日、三十日、五月一日三日間と、五月六日、七日、八日の三日間計六日間現在の競馬場で開催する事となつた尚ほ第二回競馬は五月二十七日から六月五日迄紀念競馬を催すこととなつたが同競馬は豫て移轉準備中の砂山先の新競馬場の施設の完成を告げる豫定で新裝成つた新競馬場で華々しく開催する予定である（奉天）

オーバをとられた人は

昨年十月二十八日午後七時三十分頃新京商業學校內補習學校で茶色オーバを竊取された者は至急新京署司法係に屆られたいと

書道に精進の白井寫眞館主 會心の書を執政に

滿洲國建國一周年に際し溥執政に長さ六尺巾二尺五寸、黒丸縁の枠、金箔地に絹布を貼り、遒筆な古風の字体で王道樂土と書いた額を献上した一私人があつた、一私人とは三笠町一ノ十二關東軍出入の白井寫眞館主白井象久氏で、同氏を訪へば感激の面持ちで語る

私は岐阜縣岐阜市より五里ばかり離れた谷合村の出身で祖父までは代々庄屋をしてゐました　祖父は非常に書が好きで當時の大家の書を蒐集し、又自分でも暇さへあれば書いて居りましたが祖父の感化を受けた私も生來好きで十一歳の時祖父から「お前は四十歳以上になつたら書によつて必ず認められる時が來るからそれまで大いにやれ」といはれましたのでその言葉を未だに忘れず精進して居りました、事變前には田代領事に皇恩無窮、大岩地方事務所長に國光燦爛、第三十八聯隊へ皇恩無窮の額を贈つた事があります、最近何んとかして自分の會心の作を執政に献上したいと思ひ立ち二月上旬新京神社でおみくじを上げました處「齋戒沐浴して謹書せよ」と出たので以來齋戒沐浴し謹んで書きましたが今迄書て見ない會心の出來榮へなので淺學非才なる一私人をも顧みず中島諮議を通じて献上しましたところ御受納下された上

逕啓者昨接台端所献匾額一方具見謳懐滿洲建國紀念之盛致當即代呈奉執政諭致謝爲此函達復賜日祺此致
白井象次先生
執政府秘書廳
秘書處

の有難い御手紙まで下され身に余る光榮と感激して居る次第です

（寫眞は執政に献上の書と白井氏）

王道樂土

新京高女生が東京でラジオ放送
母國見學旅行の途 滿洲國の實情宣傳を主に

新京高等女學校生徒九十八名は二十五日午後十時發列車で母國見學に出發する、一行には中園、武田、安間、先崎の四教諭附添ひ、朝鮮經由で、京城別府、神戸、大阪、京都箱根小田原、藤澤、片瀬、鎌倉、東京日光等を廻り歸路は伊勢、奈良吉野、宮島を見學、船で大連に上陸、新京歸着は四月十五日の朝八時の豫定であるが東京では特に滿洲國に關する宣傳のため愛宕山の放送局から全國に向け歌謠その他を放送することゝなつてゐると

三等待合室に 天氣と氣溫表揭示

滿鐵では旅客のサービスに萬全を期し諸般の設備を着々進めてゐるが、近く三等待合室內に天氣豫報用の揭示板を設置し、毎日天氣豫報と氣溫を揭載する事となつた

知識階級の失業者救濟案を建議
東京地方失業防止委員會

〔東京廿三日發國通〕東京府に於ける知識階級失業者は漸次增加し本年一月現在に於て三萬五千七百四十四人で昨年十二月に比較し三千百八十五人增加して居り學年末を控へて更に增加の情勢にあるのでこれが救濟方法に關し東京地方失業防止委員會は二十三日午前十一時東京府廳にて開會香坂會長よりこれが打開策につき協議の結果取敢へず左記事項を內務、大藏兩大臣に建議することに決定した

一、小額給料生活者授職事業國家補助增額に關する件
一、賃銀單價增額の件
一、其他

各地の匪賊續々歸順

〔奉天廿三日發國通〕鳳凰縣第三區三般流村一帶に勢力範圍を有し、嘗ては東北軍第三旅第一團長として活躍せる孫大立は滿洲に於ける王道樂土の建設も着々として進められ、地方住民の生活安定ぶりを眼の邊りに見他方歸順匪の救濟方法として工兵隊が編成される等彼等の想定し得ざる善政振りに翻然歸順の意を固め、當局との間に漸く交渉も成立したので去る十六日鳳凰縣公署に於て唐縣長、參事官警務局長及日本守備隊員立會ひの上、盛大なる歸順式を舉行した、右歸順匪は三百名の數に上り、銃器九十三挺を有して居り、歸順後は彼等の希望により工兵隊に編入される筈である、尚此の他にも工兵隊の編成を傳へ聞いて歸順申込みをなすもの續出し、當局は轉手古舞の有樣であるが、反滿分子の武力討伐と相俟つて國內の平定も近き將來に實現されよう

ルースの給料 今シーズン五萬二千弗

〔セントピータースバーク廿三日發國通〕本壘打王ベーブルースはヤンキース・チームの所有者との間に二十二日今シーズン五萬二千弗で契約した

小爲替を受けとりに行つたまゝ歸らぬ少年

關東軍司令部酒保食堂新井己六氏は二十三日午後零時頃小爲替十圓と印鑑を知人古田時三郎（二六）＝假名に預け受取方を依賴したが、古田は同日夜になつても歸宅せず姿を晦したため橫領したものでないかと二十四日新京署に屆出た

樺太產馬の滿洲輸出計畫
樺太眞岡商工會議所が

樺太眞岡商工會議所では樺太の產馬を滿洲に輸出すべく計畫中であるが、樺太產馬の特長としては比較的駿足なる爲め競馬用としては最も適當であるが軍馬用としても亦重要なるものであると

范家屯便り

栗崎大尉招魂祭

昨年三月廿二日陶家屯北方に於いて匪賊討伐のため戰死したる栗崎大尉の招魂祭は廿二日午後一時より陶家屯忠魂碑前に盛大に舉行公主嶺范家屯より官民有志多數參拜した

范電滿電に併合

范電が自然の運命として滿電に併合するゝ事は時の問題と見られてゐたが株主側の紳士的態度と滿電の寛大なる處置とにより廿二日の株主總會を以て芽出度く併合の調印を見た、これにより電燈料金も六月末頃より値下げされる事になり、晝間線も施工されるのでラヂオファンも大いに助かることにならう、原口專務、西澤詰在員の勞を多とするものである

戶數割查定會

八年度の戶數割查定委員會は廿四日午前十一時より范家屯地方事務所會議室に開催せられた

三陸地方義捐金

三陸地方海嘯の慘害に對し范家屯においても高橋警察署長の發起により義捐金を募集し近日送附の筈である

山本權兵衛伯夫人 胃潰瘍で重態

〔東京二十三日發國通〕山本權兵衛伯令夫人は胃潰瘍で療養中であるが、衰弱甚しく重態となつた

熱河討伐の三將軍に 于芷山將軍が感謝電

〔奉天廿三日發國通〕熱河討伐に於ける疾風迅雷的な皇軍の活躍振りは內外人の等しく驚嘆せる處で、滿洲國側ではこれに對し何等かの形式慰勞をなすべく種々考研中であるが、在奉于芷山將軍は本日熱河出征中の坂本、服部、川原三將軍に對し左の如き電報を寄せた

卓拔なる貴軍の功績に對し深甚の敬意を表し併せて貴下の御健康を祈る

生阿片密輸者 格鬪の末逮捕さる

奉天省生れ住所不定周盛閣（三五）は廿三日午後七時中東線列車で生阿片一貫五百匁を密輸入中を見張中の新京署員に發見され格鬪の末逮捕された

米國の農業救濟法案 廿二日下院通過

〔ワシントン廿二日發國通〕ルーズヴエルト大統領の農業救濟法案は廿二日壓倒的多數で下院を通過した

十年後には五六百萬圓の餘剩を生む恩給法改正案

〔東京廿三日發國通〕貴族院特別委員會に於て審議中の恩給法改正案については今回の改正案が極めて不徹底のものであるから根本的改正の必要ありとの理由により反對意見が可成り強く目下のところ樂觀を許されない情勢にあるが政府としては今回の改正によつて一ケ年四百萬圓に及ぶ恩給の自然增加を四年後には喰ひ止め得るばかりでなく、十年後には五六百萬圓の餘剩を生ずることゝなるのであるから是非該案の通過を計るべく最後の努力を拂ふことになつた

四月中に召集せん 地方長官會議

〔東京廿三日發國通〕山本內相は二十三日齋藤首相との會見の際、議會後の政局安定の方策に關し種々進言したが、最初の方法として地方長官會議を可及的速やかに開き政府の所信を披瀝し、且つ議會を通過したる予算の施行法律案の實施等に就き協議する必要ある旨を述べて首相の諒解を求めたが、其の結果地方長官會議は大体四月十五日より二十日頃迄の間に開かれる模樣である

北日本汽船會社が 敦賀北鮮間定期航路

〔東京廿三日發國通〕野村北日本汽船社長は廿三日遞信省に出頭、敦賀北鮮間定期航路の受命認可の申渡を受けた

大阪商船の配船換え

〔大阪廿三日發國通〕大阪商船では近く左の如く配船換へ斷行に內定を見た

ジヤワ航路のタコマ丸、シヤトル丸を大連航路に補充し、ジヤワ航路には印度航路に就航せるビルマ丸、マドロス丸を配船

日本基督の講演會
東京外村牧師が講演

日本基督敎會大會傳道局は今回東京市ヶ谷台町敎會牧師外村義郎氏を講師として聘し二十四、五、六の三日間左の演題の下に中央通り日本基督敎會で傳道大演說會を催す

▲二十四日午後七時半　基督敎とは何ぞや
▲二十五日午後七時半　基督敎の中心問題
▲二十六日午前十時　徹底せる信仰
▲二十六日午後七時半　永世の要道

混保大豆取扱 吉林を除き全線中止

大豆出廻期も大体一段落を告げたので吉長吉敦線混保大豆取扱は吉林驛を除き全線に亘り二十七日より中止する事となつた

ラジオ欄

二十五日（土）
奉天後五、〇〇レコード
奉天金銀相場商業通信　銀行
新京後五、二〇滿藝
東京後五、四〇講演
新京後六、〇〇ニュース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇ニュース（英語）
新京後七、四五ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース　東京中央放送局編輯

けふの銀相場

鈔票	金票	[illegible]
大洋	金票	[illegible]
國幣	金票	[illegible]
大洋	鈔票	[illegible]

新京區公示第二一號
新京警察署示達ニ依リ三月二十五日ヨリ三月三十一日迄七日間新京附屬地ニ於テ野犬驅除ヲ行フニ付飼犬ニハ其ノ飼主ヲ知リ得ヘキ頸輪又ハ牌子ヲ附シ置カルヘシ
昭和八年三月二十二日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

新京區公示第二〇號
出告示諭事照得現訂自本月二十五日起到三月三十一日止在新京附屬地一帶地域驅除野狗爲此示仰凡飼養家狗人一体知悉先期將其飼主之姓名寫明木牌或者環牌子等套在狗脖爲要
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

幕末異聞

愛慾火箭（あいよくひや）

作 瀧川駿
畫 村田洗舟

（十三）

三猿の小盃（三）

望月刑部の宅の名物、それは背戸の庭にある欅の大木と、この三人上戸だつた。泣き上戸の惣平、笑ひ上戸の利八、怒り上戸の久三。

で、この怒り上戸の久三は、雄右衛門に再三繰返して訊ねられたのでもう腹の中ではぷんぷんしてゐた。

『馬鹿にしなさるな。これでも江戸ッ兒のちやき〳〵でござんすぜ、神田で生れて新宿で育ち……』

『控へい！』

雄右衛門に、一喝されて久三は縮み上がつてしまつた。

× × ×

櫻の馬場を左へ折れた松原通りの、だら〳〵坂を上りきつた所に佐行寺といふ禪寺があつた。

夕暮の坂の馬場に、たゞ寂める暮鐘時、二人三人と、ねぐらに歸る鳥のやうに集まる人影があつた。

本堂には、燈を欺く燭に、百目蠟燭が點けられてゐた。

まづ上段には、家老の別所若狹、衛門備後、續いて內藤源太郎、鈴木要一郎、群司秋介、衛門與四郎等勤王派の主腦部の會合であつた。

遲れ馳せに駈けつけたのは、藤井友之助、大江原長一郎、水戸守媛介、鈴木藤兵衛の急進派の人達であつた。

まづ筆頭格の當藩の家老、別所若狹が靜かに口を切つた。

『さて各々、今宵參集願つたのは他でもない、藩論は、佐幕と勤王二派に分かれて、君公は、非常に心勞遊ばされてゐる。我々として一日も早く決致したいと存ずるが如何なる方針を執るべきか、各自腹藏なく御意見を述べて頂きたい。當藩の盛衰にも係はる、大事なれば、身分の高下を論ぜず話して頂きたい！』

この時、下手に控へてゐた急進派の衛守水戸守介は眼を擧げた。

『まづ、望月刑部の首級を刎ねて佐幕派の機先を制し、寛く輿論に訴ふる事が、第一の良策かと考へます』

『いや、そんな手ぬるい事では拙者この大事業は成功致すまいと存じます。まづ天誅隊を組織して佐幕派の連中の暗殺を企て、小より大、弱より強に從ふ人情を利用して、藩論を勤王に傾け、薩長と手を握り江戸に攻め上ることが上策かと心得ます』

大江原長一郎は、滔々と說明した。次いで鈴木要一郎の高い聲がした。

『たゞ今お話し合つた、長一郎殿のお說も誠に結構と存じますが、何しろまだ時期尚早、いたづらに感情に捉はれる事は面白くないと拙者考へます。望月刑部、如何に佐幕派の主魁なりと雖も、當藩に取つては、大事なる人物、さう輕々事を計られるは、無謀と申するもの、他藩への聞目もあれば一と先づ彼、望月刑部を各々の前へ呼び出して、十分勤王の大義を說いて聞かしてからでも遲くはござるまい』

この時突然、本堂の須彌壇の下から頓狂な叫び聲がした。

『裏切者』

『えゝ』

一座の視線は申し合したやうに一時に、薄暗い須彌壇の下へ注がれた。そこには衛門與四郎が、蒼白な顏に、殺氣を帶びて立つてゐた。

『何と！』

今、長說明をして、坐りかゝつてゐた要一郎は、この言葉に大刀の柄に手をかけた。

『裏切者とは何事だ、もう一度申して見よ、備後殿の息だとは言はせぬぞ』

『裏切者の理由が訊きたくば、自分の胸に聞け、それで解らずば、望月刑部の許に參つて、訊いて參れ』

『何を』

この時、本堂で騷がしい人聲がした。

舊二月三十日　三月二十五日　土　庚寅　先勝　閉　胃宿

●一白の人　榮光に浴する日　起業出店名弘曾請造作皆吉　乙と庚と亥が吉
●二黒の人　計畫は一段の進展を見す但し病難怪我注意　戌と亥と丑が吉
●三碧の人　萬事意の如くならざる日焦れば更に益無し　未と申と寅が吉
●四綠の人　內外多事にして一向取止めのなき不安の日　乙と未と寅が吉
●五黃の人　氣力大に加はり爲す事愉快にして展開の日　辛と戌と丑が吉
●六白の人　苦勞の幹は伐り倒しても未だ根が殘る如し　丙と庚と寅が吉
●七赤の人　益々心を引立て勞苦を厭はざれば吉と成る　丁と辛と亥が吉
●八白の人　諸事通達の氣運あり緣談亦大に加はる吉日　辛と亥と丑が吉
●九紫の人　自重するに如かず希望容易に達せざるの日　乙と壬と癸が吉

新京日日新聞
定價 一ヶ月 金八十錢 一部 金三錢 郵稅 一ヶ月 金十五錢
新京永樂町二丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番・二三五五番
發行人 十河[illegible] 編輯人 松本[illegible] 印刷人 谷啓二郞

時局決議案上程 松平伯が理由を説明

二十四日の貴院本會議

（東京二十四日發國通）貴族院本會議は午前十時二十分開會され議事日程變更の動議成立し、一條實孝公外四十二名提出の時局に關する決議案を上程、提案理由を説明の爲め松平頼壽伯登壇先づ世界の情勢と滿洲國成立に伴ふ東洋に於ける日本の地位を説いて後東洋の平和確保は一に我が國が態度如何に繫つてゐるそれには外交と民事との密接な連結に依らねばならぬ翻つて我經濟界は幾多好轉の兆ありとするも、世界經濟の機構は前途尙暗澹たるものあり、產業の振興と國民生活安定を明するためには國民一致の努力を必要とする外、政府の施設に俟つところが多いのである、次に我國の一部では矯激な思想が流れ込み、國體を否認せんとするものすらある、是に對しては法の運用の適正と歷史と民族精神に鑑みて諸制度の刷新を明し、建全なる思想を振起することに努めねばならぬ、此の重大なる時期に際し國務に當面する齋藤首相以下各閣僚は協力一致して國運の進展を計られんことを望む、と述べた

趣旨に添はん 齋藤首相より言明

（東京廿四日發國通）政府は二十四日の貴族院本會議で時局に關する決議案が可決された場合は首相より發言を求め政府は內事外交の各方面に亘り大いに刷新に努め決議案の趣旨に副はんとするものである旨を述べ、政府の今後の政局に對する意思表示をなすことになつたが之に對し、政界の一部には政府は貴族院の決議案を好機として內閣延命を策せんとするものだとの觀測が行はれてゐる

政府鞭撻案は諸政革新強調 倒閣的ではない

（東京廿四日發國通）貴族院の各派一致の政府鞭撻決議案は二十四日の本會議に劈頭緊急上程、松平頼壽伯が提案理由を説明する事になつてゐるが同案文は外交財政思想並に諸政の改革統制を極めて簡單に表はしてゐるが、此の決議に含まれてる意味に就いて、提案者側では、非常時局は未解消だから非常時に處する現內閣は支持を前提に之を鞭撻督勵し諸政を是正せしめんとするもので

一、外交は飽まで既定方針に基き、更に此方針を擴大強化し列國に我立場を承認せしめるやう努力し、國家百年の大計を誤らしめぬ樣根本方針を確立せしむること

二、財政は赤字に次ぐ赤字を以てし、公債の利子も公債でし、財政計畫表が發表出來ずに漠然と前途樂觀してゐる政府をして、斷然確乎たる對策を樹立し、之が實行をなさしむる

三、思想は近時左右兩翼とも潜行擴大、識者を顰蹙せしむることが屢々憂慮し、前途は誠に心憂に耐えぬから此際根本的取締りと豫防を講ぜしめる

と云つて居り、決して倒閣的の意味を含むものでなく、同決議案が直ちに政局を不安にするが如きことはないが、然し一部の政黨が企圖する如く政局を安定せしむることも出來ないであらう

居坐りは一時的 政友會の觀測

（東京二十四日發國通）政友會では齋藤總理と高橋藏相、山本內相の會見の結果此の儘居座りに決定したと傳へられるが、此の儘で次の議會に臨むとの意味ではなく、議會終了後各閣僚が勝手に進退せざる樣にと暫く自重し殘務整理の上圓滿辭任との一時的のものであると觀測してゐる

軍縮會議の我陣容

（ジュネーヴ廿三日發國通）軍縮全權佐藤大使は二十三日朝ジュネーヴに到着した、松平大使武者小路、齋藤兩公使は既にジュネーヴに到着してゐるので、我が軍縮代表部の陣立は陸海軍全權代理の外に大使三公使、と云ふ大勢である

日滿支關係で世界に呼掛く 駐日白大使は語る

駐日ベルギー大使バツソンピエール氏は、[illegible]の記者との會見に於て日支問題に關し大要左の如く語つた

日支事變は支那が南京政府の利權回收、國權恢復運動の波に乘つた排日に端を發するものなることは何人も認めざるを得ざる事實である、日本政府の斷乎たる行動の背後にはアジアに黎明と平和とを齎らさんとする眞摯にして純眞なる日本國民の固き信念が存在してゐる、何人もこの國民的信念を無視しては唯外部よりの干渉として徒にその感情を刺戟するのみである

轉じて支那の永きに亘る無政府狀態殊に軍閥支配下の大衆の苦を述べたる後北支に於ける平和の一日も早からんことを望みつゝ

畢良下野の今日彼の後繼者にして前者の沒落の眞因を悟り支那大衆の爲め重大な排外政策に一大轉期を與へるならば長城線の和平は日本側のもとより望む所である、今や滿洲國はその國際的位置の如何に拘らず着々建設の業に向ひつゝある、その建設事業の進展と共に三千萬大衆の商品需要の大いに起るべきは見易きことである、事業と商品市場の調節とにとつて誠に絶好の機會と云はねばならぬ

滿洲國は門戶開放政策をその建國の宣言をうたつてゐるし、日本の資本と活動も滿洲の全事業に適するには足らないであらう、既に機を見るに敏なる英米兩大國は事實上滿洲に活躍せんとしつゝあるではないか

と諸國側に呼びかけ、次いで近時支那問題解決策をして歐米人間に強く唱導されつゝある自治聯邦に言及して

何時の日に効果を期待し得るか不明なる支那の將來論に拘はるには支那今日の狀態は餘りに窮迫せり

と斷じて日支中平和の緊急なることを強調した

低資報告や新入會者決定 新京商工議員會で

新京商工業會議所議員會は廿三日午後三時當所會議室に於て開催、出席者は永原岩雄、岡田出島定一、杉之原孝善、岡田小太郎、吉田廣輔、寺內清次石崎廣治郎、四戶友太郎、寺中南治、蓼沼泰一の諸氏に大垣書記長も參加した左記議題全部を議了し同五時閉會した

報告事項

一、低利資金に關する件 低資問題に關し庵谷上京委員より大連會頭宛電報移牒に關し書記長より報告

二、新潟縣知事より來狀の件 新潟縣知事より新京會議所の一部借縮方に關する書面を書記長より朗讀報告

三、議員辭任に關する件 [illegible]長に當地支店より大連本店に轉任せる五十嵐議員より本月三日附を以て議員の辭任屆出有り右書記長より報告

議事

一、入會申込者に關する件

貴金屬室裝飾製作販賣商 新京金華號 塚原京明

土木建築請負業 田中組出張所 江頭卯三

食料雜貨卸小賣商 清家支店 河野淩延

靑果卸小賣精肉小賣商 鄧實和洋行 西田彌

建築材料機械暖房工事請負 合資會社島松商店支店 厚木德一郞

土木請負業 長谷川組出張所 長谷川岱次

宿屋業 旭ホテル 森重六

毛織物商 滿蒙毛織出張所 鈴木高

和洋家具金庫藥品建材商 品川洋行支店 高堂武則

以上九名の入會申込者に關し審議の結果いづれも異議なく入會を承認

二、定期總會議案の件

△事務報告の件 昭和七年十一月以降四ヶ月間の事務報告案を印刷に附して配付

△昭和八年度收支豫算案の件 以上二件を一括議題に供し豫算案に就ては會頭より詳細に付説明する處有り滿場異議なく可決

△議員二名補缺に關する件 五十嵐議員の外に今村滿銀支店長の轉任決定せる爲め二名の缺員を生ずることとなり居るを以て定期總會に於て之が補缺を行ふことの可否に付議場に諮りたる處異議なく補缺を行ふことに決定

△定期總會開催日時決定に關する件 來る三月二十八日午後三時開催に決定

來年度戶數割の査定全く終る 大体本年度とは變りがない

新京地方委員會開く

新京附屬地に於ける來年度の課金戶數割徵收につき二十三日地方事務所長室で地方委員會を開き勤崎議長以下各委員滿鐵側から荒木所長、各係長その他出席して、まづ原案の提示があり、審議のうへ多少の修正を加へこれで全部の査定を終つたいづれも一週間中に各個人の數字も確定され正式に發表を見るはずである、總額凡そ十萬圓で本年度に較べて約一萬圓の增加を示してゐるもこれが徵收に際しては好景氣のため一般商工業者の收益が事變前に較べて非常な增加を示したりとはいへこの際一率に値上げするは面白からずとなし、各個人として收益上特別大して變化なき限り前年度とは餘り變りなき模樣である

范家屯地委員會

范家屯では來年度公費査定のため二十四日地方委員會を開催、新京地方事務所より荒木所長、山內地係長ら臨席した

好景氣も本格的で商工界の活況 一般の懷具合のバロメーター

新京金融組合成績

日を逐ふて殷盛を極めつゝある新京商工業界の現狀に伴ひ中小商工業者の金融機關である金融組合は好成績を收めてゐる、利用者は事變前の如く貸付金を生活費にあてるといふ樣な事なく資本化し活用してゐる、擔保品も不動產債券は勿論電話、倉庫證券、貨物代表證券、等多種類に亘り金額も增加し本格的な經濟界の波に乘つて來た、試みに事變前と比較すると

	昭和六年九月	現在
加盟人員	一三一	一五二
出資口數	六六一	八四六
預金	[illegible]	[illegible]
貸金	[illegible]	[illegible]

右につき本莊金融組合理事は語る

新來者は未だあまり加盟して居ないが申込はぼつぼつある、信用狀態を調査の上確實なのはどしどし入れる心意だ、これからは土建界の利用も相當あるので今年は非常に活況を呈するものと思ふ、政府から近く低利資金として全滿金融組合へ百萬圓貸出される筈である近頃の新京商工業者の內容狀態は非常に向上した、そして事變後眞に經濟に目醒めた樣な氣がする

春耕資金は愈々近く貸出 中銀の辦法で實施

既報、滿洲國中央銀行に於ては勸業銀行設立までの暫行的辦法として本年度植付資金を各農村に貸出す事となり擔保の査定、評價、出金額等諸般の準備を急ぎつゝあつたが植付開始を目睫に控へ黑龍江省の貸出準備は大体終了を見たので本月中には、一千萬圓を限度として貸付ることとなつた今回の貸付は、償還能力なき者及び擔保の者には貸付をはねに決してゐる、なほ黑龍江省以外に吉林省に五百萬圓興安省に百萬圓、奉天省は目下交渉中であるがそれぞれ植付開始迄には貸出す事になつてゐる

軍事救護各團体合同 總會で決定

（東京廿四日發國通）軍事救護を使命とする帝國軍人後援會では閑院元帥宮の臺臨を仰ぎ、二十三日午後一時九段偕行社で會員三百名出席の上第二十三回總會を開催したが、同總會では陸軍中央部の意圖に基き二十年餘の歷史ある軍事救護各團体の解体合同を協議し、合同を前提として定款を變更に議決した、其の結果巨額の費用が節約され軍事救護費に當る事となつた

重光公使歸り咲かん 近く晴の入京

（東京廿四日發國通）別府に靜養中の重光公使は來る四月四日晴の入京をなすことになつたが 天皇陛下には同公使に對し、日を改めて歸朝外交官として拜謁を仰付けられる外特に同公使が日支紛爭の難局に處し、る在任中の勞を犒はせらるゝと思召から御陪食を賜はり、更に同公使を召され其の奏上をも聽こし召されるやの趣きである、重光公使が歸京後中央へ歸り咲いてその敏腕を振ふことは確定的で外務省でも目下その椅子に就き考慮中だが、若し公使の健康が許さねば目下帰府で審査中の考査部の實現を機として此の次長あたりに、又若し健康が許せば再び氏の對支政策を實行させるのが氏に對する慰めでもあり激勵でもあると云ふ意見が有力である

中央黨部の北支勢力 日增しに增大

（北平二十四日發國通）當地に於ける支那側官憲の新聞通信の報道に對する檢閲壓迫は稍々緩和されてゐたが、何應欽の鎭坐と共に黨部の勢力は漸次北支に濃厚となり、昨日より外國通信記者に對しても嚴重なる電報檢閲を施し、支那側不利の戰況等は通信拒絶されるやうになつた、此勢で黨部の勢力は中央軍による舊東北軍の解決進捗と共に一切を黨部牛耳るやうになるのも遠くないものと見られる

全滿鮮農の金融機關設立 各地金融組合を統一して

在滿鮮農發展、振興を計るために鮮農に對する融資の圓滑を期して朝鮮總督府の援助により全滿重要地十ヶ所に鮮人金融組合が其の機能を發揮しつゝあるが、今回總督府においては、更にこれ等金融組合の統一を圖りの圓滑なる遂行を期するべく考究中のところ愈々このほど具体案の作製を見たので近く發表される筈である確聞する處に依れば全滿鮮農金融組合協會を創立し本部を總督府新京出張所に置き、役員は組合理事者中より選出し各組合の連絡を圖ると共に融資事業のみならず更に農村農民の精神的發展向上を期する見地より文化的諸施設も研究實行に着手する筈であるが、同組合の創立と共に今後の活動は各方面より多大の注目と關心を以て見られてゐる

鮮人金融組合發展

新京に於ける鮮農唯一の金融機關として重要なる機能を發揮しつゝある新京鮮人金融組合は鮮人農作地の治安恢復と共に播種期を控へ、積極的に活動を開始したが、現在會員は八百名に達し發展を計り會員も漸次增加の見込みで、本年度は一千名にのぼるものと理事者は觀測して居る模樣で本月末は決算期なので締切りに忙殺して居る、大体四月中旬に總會開催の豫定で席上七年度事業經過報告及び成績並に八年度事業計畫具体案を上程協議する筈であると

月末發行公債の條件 二十七日決定

（東京廿四日發國通）日銀、大藏省兩當局は協議の結果

一、月末發行の公債二億數千萬圓の發行條件に就ては議會終了後の二十七日に正式決定し日銀引受けにて發行のこと

一、三億圓の大藏省證券中二十五日滿期の一億圓は借替へを行ひ、三十日滿期の分は公債の代りに金を以て現金償還すること

一、四月一日期限の米穀證券九千萬圓は日銀引受けにて借替へること

の諸方針を決定した

人事往來

▲粟野滿鐵審査役 二十三日午後三時三十五分來京 二十日午前八時發吉林へ

▲入江正太郎氏（滿電專務取締役）二十二日夜來京國都ホテルへ

▲永雄策郎博士（拓大教授）二十三日夜來京滿洲屋旅館へ

▲飯島少佐 二十四日午後來京富士屋旅館へ投宿の予定

▲夏子明中將（護國第一軍長）二十三日午後四時三十分南行

▲黃昭誠中將（護國第三軍長）同上

▲許汝芳（文教部次長）同上

▲梅井遞信局長（關東廳）二十四日午前八時來京

一人一話

眞劍さ 鳩山一郎

眞面目さ、眞劍さのないところに、斷じて進步向上はない。眞面目さ、眞劍さのない人に、斷じて成功はない。世の中の進步發達は、各人各樣の立場で眞劍に闘ふ處にあるのである。社會の事業でも各人の仕事でも、燃ゆるが如く熱烈な意氣を以て、眞劍に直往する處に進步が生れ、成功が齎されるものであると確信する。

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片一六分一
同遠限	一七片四分三
紐育銀塊	二五仙八分七
孟買銀塊	五六留比一六分五
米英爲替	三弗四一仙四分三
米日爲替	二一弗五〇仙
米支爲替	二九弗八分七
スチール株	二八弗丁度
アナコンダ株	七弗丁度

▲綿花

●米綿

現物	六仙四五
三月限	六仙三二
五月限	六仙三四
七月限	六仙四四
十月限	六仙六八
十二月限	六仙六三
一月限	六仙七〇

●印綿

ブローチ	一八五留比
ベンゴール	一六七留比
オムーラ	一四七留比

▲上海票金

昨値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
本寄値	[illegible]	[illegible]
步	[illegible]	[illegible]

▲上海倫敦向 遠値 一志八片一六分九 / 買値 一志八片八分九

▲上海紐育向 遠値 二九弗八分三 / 買値 二九弗二分五

▲上海日本向 第一回 [illegible] / 第二回 [illegible] / 第三回 —

▲大連鈔票 現物 [illegible] / 近期 [illegible] / 遠期 [illegible]

▲大連上海向 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 二一弗八分三 / 第二回 二一弗八分五 / 第三回 —

▲阪神日英爲替 賣値 — / 買値 —

各地市場

▲大阪株式 [illegible]

▲同短期 [illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲大阪三品 [illegible]

▲大阪棉花 [illegible]

▲大阪期米 [illegible]

▲仁川期米 [illegible]

▲橫濱生糸 [illegible]

▲神戶豆粕 [illegible]

●大豆 ▲大連特產 [illegible]

●豆粕 [illegible]

●豆油 [illegible]

●高粱 [illegible]

●大豆 ▲哈爾賓特產 [illegible]

●小麥 [illegible]

▲カアカツタ麻袋 [illegible]

▲大連麻袋 [illegible]

新京市況

大豆 現物 出來高 [illegible] / 高粱 出來高 [illegible] / 小豆 出來高 [illegible]

▲錢鈔 鈔票對金票（現物） / 大洋對金票 / 國幣對金票 / 大洋對鈔票 [illegible]

就職受難

學士樣迄が押し寄せたりく

競馬事務員志願に殺倒 ご婦人は涼しい顔

王道樂土、まる滿洲國に乘込めば就職は易々と出來る、曾ては滿洲景氣、血に燃ゆる若人は大望を抱いて續々大滿洲國目指して押寄せて來る、押寄せて來る者はいづれも滿洲の地を踏めば右から左に就職されるものと考へて、先づ首都新京にやつてくる、そうして知人を訪れ又は先輩を介して運動をするがいつになつてもそう易々と就職されず下宿旅館に落付いて、日和を見ると云つたものが多い

今その一例を見れば新京競馬倶樂部では來る二十九日から春の劈頭を飾る大競馬大會を開催に決定し、臨時事務員男五十名、女五十名募集を新聞上に掲載し、同月二十一日男子の部を締切つたところ應募者實に百五十名、

＝定員＝を突破すること實に百名、に達した、右百五十名の履歷書を見るといづれも內地直輸入の者で元氣潑溂たる學生上りが一番多い、その學生の內には堂々たる法學士の肩書をもつ者もあつた、今學校別にすると東京帝大卒業一名私立大學二名、專門學校卒業十名、中等學校卒業が大半を占め續いて中等學校中途退學者、三十名、除隊兵十五名、小學校

＝教員＝であつた者十名、その他學歷なき者は僅か十五名しかなかつた、また、年齡からすると五十歲が最高、一名で二十五歲から三十歲過が、大多數を占めてゐる、僅か一週間の臨時使用人の募集でさへ血の出る樣な激しい就職の競爭で、この狀態を目擊した、若人達もお互に打驚き總ての期待は裏切られた、いづこも同じ就職

＝受難＝時ではあるそれに引返し女事務員を見る、五十名に對し二十名しかなく、これ等二十名のうち女學校出が、數名他は小學校卒業者である、女の就職は男に比しいづこにおいても顧迎され失職は殆ど見ないのが今日このごろの新京である

出動せる飛行機は愛國號のビック

〔錦州廿三日發國通〕本日前線に出動した飛行機は左の如く國民愛國の結晶になる愛國號のビック、パレードであつた

立川號 帝生號 三重號 防長號 香川號

松岡全權の第一聲 太平洋上から放送

〔東京廿四日發國通〕松岡代表は三月二十四日ニューヨークに到着大統領ルーズヴェルト、國務長官ハル兩氏其他米國朝野の名士と會見、四月二十七日橫濱着の郵船淺間丸で歸朝する事となつたが、東京放送局では同全權の第一聲を橫濱入港前太平洋上から全國民に聞かせ樣と準備を進めてゐる

討熱戰傷病兵 卅二勇士出發

大連より故國へ凱旋

〔大連廿四日發國通〕旅順衛戍病院で療養中であつた熱河掃匪戰の戰傷病兵吉廣軍曹以下三十二勇士今朝來連、午後十時出帆のハルビン丸で西田三等軍醫外六名の看護兵に附添はれ痛々しい姿で凱旋の途についた、埠頭やベランダ岸壁ともに見送の市民で埋められ、岡野助役は市民を代表し感謝と送別の辭を述ぶれば之に對し西田軍醫將兵に代つて答辭を述べ、萬歲の嵐、碇は船舶の一齊に吹き鳴らす氣笛に送られ一路故國に向つた

傷病兵來京 出迎へを希望

二十五日午後三時三十五分發列車で傷病兵一名ハルビンより來京の豫定であるから多數出迎へられたか

西廣場校卒業式 きのふ盛大に擧行

市內西廣場の小學校の卒業證書授與式は二十四日午前十時から同校講堂に於て左記に依り擧行されたが來賓として田中領事代理高山警察署長、勘崎地方委員議長其他地方有力者並に父兄約八十名出席、頗る盛大に行はれ正午式を終つた

一、振鈴に依り一同著席
二、敬禮
三、君が代合唱
四、勅語捧讀
五、唱歌奉答歌
六、證書授與式 (イ)卒業證書 (ロ)優等賞 (ハ)學科賞 (ニ)進步賞 (ホ)体育賞
七、學校長諭告
八、管理者告辭(荒木地方事務所長)
九、來賓祝辭(田中領事、勘崎地方委員議長)
一〇、送辭在校生代表太田憲治(五年)
一一、答辭卒業生代表佐藤敏夫
一二、保護者總代久末氏の謝辭
一三、唱歌台唱(仰げば尊し)
十四、敬禮閉式

尙優等賞を授與された卒業生氏名は左の如し

戒田昌堯、佐藤敏夫、中西弘、長野和子、和泉美幸、吉田房子、鈴木郁子、岡崎茂、久末睦子、山田貴美子、西村久子

學童の洪水で 室町校愈よ近く改築

本年度の轉入學五百廿八名 新に十教室を增加

新京に於ける一般人口の增加とともに學童の增加はまた素晴らしい勢である、いま室町小學校のみについて見るも本年度中途入學者實に五百二十八名同中途退學者百六十七名

＝差引＝三百六十一名の增加を示し現在の在籍者は千百八十三名を算してゐる、なほ本年度はより以上の增加を見ること疑ひなく早くも五六十名の轉入申込さへあつて當局でも聊か面喰つてゐるがこれがため同校舍が遙かに狹隘を告ぐるに至つたのでいよく近く改增築に着手することになつた、即ち現在の校舍は普通教室二十三特別教室七、計三十室であるが今度正面玄關の第一棟を改築して總二階建とし新たに十教室を

＝增加＝することになつたものでこれが總坪面積は千五百四十七平方米である、今のところ四月下旬工事に着手大体八月末までには完成される見込で、この增築によつて新學年早々の五學級增加は消化され、尙且半分の餘剩を見るわけだがしかし前記の如く其後の轉入學者が幾何に上るかは皆目見當つかず、本年度の例に徵して忽ちにして不足を告ぐることになりはすまいかとさへ云はれてゐる

鄭總理の執務振りもフヰルムに

既報、近く完成される實寫映畫全三卷「新興滿洲國の全貌」は滿洲國建國一周年の記念事業として中央委員會が計畫進行中であつたがこの程國都新京の人情風俗等日醒しき躍進を示しつゝある國都新設狀況及滿洲國政府各機關主として國務院皆議並に鄭國務總理の執務實況等をキャメラに收めて大體の撮影を終り、目下滿鐵弘報係映畫班に於て製作を忙いでゐるあり、遲くも四月中旬には完成される見込である

汪の復職は困難

南京よりの情報によれば汪兆銘は南京歸着と共に孫科、顧孟餘等の慰留により行政院々長に復職を見るものがあるが一方と府部內の或一部に於ては目下蔣介石との間に意見一致を缺き、そのために汪は當分復職を差控へ常務委員として形勢を觀望するものと見られてゐる

谷外事科長就任

滿洲國民政部外事科長に就任した谷次亭氏は同科員澁谷氏の案內で二十四日日本側各方面を挨拶に歷訪した

外村牧師來京

基督教傳道義會々長、市谷台町教會牧師、社會教育同志會副會長外村義郞氏は約一ヶ月の予定で滿洲各地傳道のため來滿二十四日古川牧師同道挨拶のため本社來訪

震災地出身の滿鐵社員は歸省隨意

救濟金貸付も行ふ

滿鐵では今回の三陸地方の震災につき同地方出身者に對してはその希望に應じて任意必要期間歸省せしめる事に決定し、一ヶ月分の本俸及在勤手當を無利子にて貸與し、救濟金の貸付を希望する者には身元保證金の限度で共濟基金より貸付ける事となつた

商震軍灤東へ

附近住民戰々競々

〔山海關廿四日發國通〕石河右岸の何柱國軍は一部冷口長城線に進出し、主力は灤河の線に退いたが、代つて灤河以東に出た商震軍は山海關の正面に出るを嫌ひ海洋鎭附近に集結し居り、而もその數は僅かに五千と稱せられてゐる、一方同方面の農民は戰亂の再燃を恐れ、兵力の手薄さに乘じ片つ端から塹壕を埋めつつあるが、夜が明けると商震軍は一々これを補裝しつつあり、攻防いづれにもつかぬ狀態を示してゐる

吉凶禍福

△新京祝町二丁目十二滿鐵社員久野源吾氏 一男靖彥十八日午後十一時二十分出生

新刊紹介

△種苗案內(昭和三年春の卷)蔬菜草花等の好指針奉天浪速通八番地奉天種苗園で頒つ

天氣と氣象

二十四日の最高氣溫四度九最低零下九度九、二十五日の天候南西の風晴れのち一時曇り

小荷物も二倍

係員たち整理に忙し

事變以來郵便小包は既報の如く急速な增加率を示してゐるが一方鐵道小荷物も劃期的な激增を見せ、係員一同整理に忙殺されてゐる、昨年四月と本年二月を比較すると次の通りである

	七年四月	八年二月
新京驛着	三、〇〇〇	一一、六三四
同 發	一、九三三	四、三二一

偽勇軍の歸順申込み

耳を傾けず

〔前所廿四日發國通〕過日義院口に到着した滿洲派遣軍丁强軍は去る二十一日在九門口中川○除と無電聯絡を完成、今朝早くも聯絡員を派遣し來り互に無事成功を祝し合つたが丁軍に對しても中川○除に對すると同樣鄭桂林その他の偽勇軍將士より頻りに歸順を申込んで來るものがあるが、それ等には一切耳をかさず引續き嚴重に警備中である

吉林省內の共產黨が動く

各地に支部を組織 鐵道の破壞も企圖か

吉林省內の共產黨は昨秋來、當局の彈壓を蒙むり一時影をひそめてゐたが最近に至り省內各地の幹部級黨員は磐石地方に集合して蠢動しはじめ、去る十八日の北平民衆運動紀念日には磐石、双陽永吉、敦化、額穆、樺甸、舒蘭の各縣に支部を組織したが、更にメーデーには赤化工作指導員の巡回講演を行ふ計畫である、又磐石の本部では日滿軍の行動及各地住民の思想動向に細心の注意を拂ひ一面避難鮮人に對する宣傳に努めてゐる樣樣である、その他磐石縣委遊擊隊四百名、海龍縣委二百名は吉海及瀋海兩鐵道の破壞及西安炭礦の奪取を企圖してゐる

夜行車に一等寢台車

四月から實施

新京より午後十時發の釜山奉天直通列車は內地と南滿聯絡の所要時間を最も短縮された超々スピードの急行列車で旅客は逐日增加を示して居るが從來一等寢台車なき爲旅客の不便を感ずる者多くこれが連絡を要望する聲高きに鑑み愈々來る四月一日より增設し滿足を與へる事に決した

世にも獰猛なる白旗會匪出現

老法師頭を戴く八百の白襷隊 柳河縣民を脅かす

一時暴威を逞しうした滿洲の大刀會匪は其獰猛な殘虐性を遺憾なく發揮することと精悍無比な蠻勇振りとで有名な匪賊の一團で世上によく知られて居るが、最近又復たこの獰猛な會匪に酷似した白旗會匪の一團が出現して柳河縣下の良民を震憾せしめてゐる、白旗會匪と云ふのは匪魁五を頭目とする約八百名の一團でこの一味は頭部に白布を卷き肩から白布の襷をかけた白襷隊で大刀會匪と同じく一種の迷信から出發した會匪でこの會匪の中には一名の法師頭の法師がゐる、そして其法師は年歲百余歲であるといふが、如何なる嚴冬でも單衣一枚を身につけるだけで平氣で白旗會匪の一味からは神の託宣に依り東邊道を統一する生神樣であると信ぜられ、この法師頭の指揮采配に依つて東邊道一帶に狂暴を逞しうしてゐる

滿蒙進出發展の原動力

自有更生の道は 安價生活にあり (六)

醫學博士 松浦有志太郎

又內地に於ても一般に無病長壽の人はその生活質素にして多くは粗食に滿足し、ゼイタクな飲食物をせぬ人々である事は、長壽者生活の調査に於て之を見る事が出來る。猶一つの實例は南滿洲金州に於ける燈影莊(一燈園の農場)の生活である、此は同地方に於ける最も不毛のやせ地を租借して耕作し、畑には高粱、粟、包米、落花生、馬鈴薯を作り桑樹を植ゑ養蠶をなし又山林にはアカシヤを植林しておるのであるが、その生活は自給自足をなし、生活の程度は近邊支那農民の程度を標準となしておるのであるが一年の生計費一人當り四十五圓程にて足り一人一ヶ月の食費二圓位にて健康狀態は甚だ佳良にして、內地にありて弱體なりし人も、此莊に來りて反つて健康を增進し、子供もよく生育せりと云ふ、此燈影莊は小なりと雖も今や立派に我滿洲に於ける農業移民の活きたる模範となり居れり、日本人も此の如き安價生活を行ひさえすれば、誤鐵從業員の如き不健康狀態に陷らずとも生きて行けると云ふ事を證明するのではあるまいか

以上述べたる所を總括すると、我等人間の生活資料は安きもの程善きものであり、上等なものであつて從つて我等は儉約なる生活をする程、衛生にも叶ふ生活が出來る、ゼイタクなる生活、ゼイタクなる飲食は、不經濟、不健康にして道德的にも亦墮落せる生活である事は毫も疑ふ餘地のない處である、之をよく諒解したならば、我等の進むべき自力更生の道、前途坦々として、自ら眼前に展開するであらう

洪水、饑饉、不景氣、生活難、天災、地異、人畜の行き詰り、此等の禍を轉じて反つて多幸多福なる生活の出發點となさねばならぬ、今は丁度その時である。切に識氏の反省を禱る

國家民族の生命線たる滿蒙の地を如何にするか昭和維新の大事業は我邦建國以前からの天照大神の神意による世界遍照即ち百姓昭明協和萬邦、アラユル民族を融和親善せしめ萬邦を協和する所の世界太平和の達成に着手する事でありませう。それは愛の心を以て凡ての民族と交はる事であります、徹底的に愛を敷く事である。徒らに爭ふても負けてはもとより不利、勝つたとて怨を增し難を構ふる丈であります

明治大帝の御製

人の世の正しき道を開かなん虎のすむてふ野邊のはてまで

愛みあまねかりせば諸越の野に伏す虎もなつかざらめや

此の御聖旨を國民皆が身に帶して博愛の道にいそしむ事であります。此事を實現致します爲には併し

明治大帝の教育の御勅語にあります樣に恭儉己を持し、博愛衆に及ぼすと云ふ順序で恭儉己をする事が博愛を衆に及ぼす原動力となるのであります恭儉は人に遜り何處までも人を敬し且つ物を惜み貴びて浪費せぬ下坐安價の生活を行ずる事であります。

婦人と家庭

僕のドモリはかうして治した
ドモリ諸君！
僻を去り原始に返れ
松尾君を死なしたのは殘念だ！

舞踊家＝石井漠

ドモリに絶望して、無殘にも自殺した慶應のハードル選手、松尾君の報をもたらして、嘗て偉大なるドモリ、であり現在偉大なる舞踊家石井漠さんを訪ねると、漠さんは殘念さうに語る

「ドモリは必ず治るといふ自信を持つてゐる僕の生涯はドモリ矯正の實驗臺の様なものだ。今度の松尾君だつて一度僕の家へ來てくれたら死なずにすんだに違ひない

ドモリで死ぬ

なんて馬鹿々々しいことだわの記事を讀んで僕はドモリ矯正事業を決心したほどである。僕が失明した、時トテも踊りは望みがないから、一つドモリ矯正に一生を捧げようかと思つたこともあつた。僕のドモリは六つの時からで親しくしてゐた友達のドモリが傳染したものだ。幼年時代は友達の惡い癖ばかり眞似るもので、一人ドモリがゐると四人のドモリが殖えるといはれてゐるそれから

ヒドいドモリ

になつて小學校、中學校を通じ、三回もドモリの爲に落第してゐる「本を讀め」たつて讀まないし「何か答へろ」たつて答へないのだから落第するのも當然だ。松尾君が出席してゐても、呼ばれて返事が出來なかつたために、いつも缺席になつたといふ氣持は僕によく分る。到頭五年の時、ストライキの主謀者になつて追ひ出されてしまつたそれから

嚴しい親爺のこと

を考へると家へも歸れず、親爺の友人が庶務係長をしてゐた小坂鑛山へ逃げて行つた。そこで庶務に雇つて貰ひ日給四十三錢を頂戴してゐたが僕の席の前に電話がありドモリの爲に電話をかけることがイヤでいつも下の部屋へ行つて自分の席にゐなかつた爲にクビになつてしまつた。その時四十四圓ばかりの退職金を懐にして上京した。初めて訪ねたのが大町桂月先生だつた。先生はヒドいドモリで中學世界といふ雑誌の巻頭に

『ドモリの辭』

といふのを書かれたことがあつた。それを愛讀してゐたので先づ訪ねたワケだつた。先生のいはれるにはドモリといふものは精神的なもので、何か一藝に秀でれば必ず治るといふのだ。そこで先生は私に人の餘りやらない仕事に入れといふのだ。ドモリといふものは頭の命令と咽喉の運動が一致しない所へ持つて來て、肺の空氣がなくなるから起る現象で咽喉の筋肉がいふことをきかないうちに

肺の空氣が出

てしまふから、動力がなくなるのであるだから歌などを唄ふとリズミカルに連絡するからドモらない。それと自信を持つことである俺に出來ない事があるかといふ氣になれば必ず治る先日、名古屋の學校長が踊りの用で訪ねて來たがヒドいドモリで、僕の前にゐるからその場でドモリを治して見せたどうしたかといふのに、自分から全すドモるので「僕は自分もドモるがあなたもヒドいドモリですね」といふとそれで安心したからモドりが輕くなつた。

ドモリは虚榮

心が強いから氣持がひがみ、人のことばかり考へて自分がなくなる、自分があるから世界があるのだと考へ、野人に還つて禮を失しない程度に傍を考へに入れず振舞へば必ず治る僕の例にすれば、先づものをいふ必要のない踊りへ入らうと思つた。それも人のやつたことを眞似してゐたのではいつまでたつてもタイしたものになれないから、一つ自分獨特のものを作らうと考へ舞踊詩といふものを作つたこれならたとへまづいとも、人がやつてゐないのだから。自分一人といふうぬぼれが持てる。ドモリは病氣ではない

ドモリの矯正

法を初めて日本で始めたのは樂石社、貴族院議員の伊澤修二さんが社長だつたが、僕もそこへ入つて發聲法の練習をした。成績優良で先生になつてくれと所望されたが斷つた併し矯正所のやうに外部から機械的にやつたのでは、また後戻りする虞れがあるから、外部からと同時に内部から精神的に治さなければダメである。それとドモリの體格を見ると皆猫背で肺がせまい。これも體育によつて胸を廣くするやうな練習をしなければいけない。最後に注意すべきは

ドモリは若い

うちに治さないと治り難いといふことである。三、四十になると聲帶が硬化するから一寸治らない。僕は滿天下のドモリ諸君にいふ。ひがみをさつて原始人に還れと若し松尾君に會つてゐたら腕力でも治して見せたのに惜しいことをした。大きなショックを與へればまた治るものだからであ」

長い顔と髪の形

▽…長過ぎるお顔の方は兩頰に長めにおくしをたらします、短く横におぐしを出すことはちよつと考へると丸ふつくりとみえさうですが實際はかへつて、顔の長さが目立つ結果になります

▽…又額に毛をたらすことも額が廣過ぎることでお顔が長くみえる場合は効果的ですが眼から下の長い場合は、額をかくさない方がむしろよろしいと思ひます。（メー牛山氏）

海の外から

口アラスカ、マンモースの大牙

米國ニユージャーシー州にマンモースが棲息してゐたことは、過般發見された五吋位の歯で判つたが、此の程アラスカに長身大の大牙が發見された、察するに亞細亞大陸と米大陸が地續きに成つてゐた太古、マンモースが渡來して米大陸の北方を盛んに暴れ廻つたらしいと。

口捕魚の新戰術

米國東部海岸では魚獲法として最近小舟にバターか其他魚餌を積み込んで、出漁の際故意に轉覆して魚類の參集を待つ漁術が大流行。

口獨逸のゴム

獨逸ではゴム硝子が市場に進出した長さ四呎巾一呎の大きで大人三人の重さを十分支へ得る強靭堅固さ。

ホームラン王・ボン助（三）

1 ボンスケ タマスケハ コレカラ ポツポツ セ ンポニ デカケマス。

2 コラツ マテイツ ワ ルモノガ ケイカンニ オワレテイマス。

3 コレヲ ミタボンスケ ヘ イキナリ バツトニ チカラヲ イレテ カン ーツ

4 タマハ ワルモノノア タマヘ コツン ツイニ ワルモノホバク バンザ イー

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
活鯛	三七三 三六〇	チヌ鯛	六一
アマ鯛	九〇 七五	マグロ	一二〇
カツオ	三九	ヒラメ	一二〇
ボラ	一三一八	キス	三四〇
イワシ	一五一三	ハゲ	三四七
オコゼ	三九四五	メバル	五九
ムツ	二二六二	サヨリ	三三九
タコ	三三五三	イヒタコ	九一九六
甲イカ	九〇	イセエビ	三三二九
車エビ	四八九二	中エビ	五〇三八
貝柱	二六	ナマコ	四一二〇
アワビ	二一八〇	蛤	三四
アサリ	一一	シジミ	一〇
カマボコ	一八一五	チクワ	八

野菜相場

新京市場小賣相場表　三月廿五日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	四八	蓬蓬草大連物	一二一
サツマ芋	三四	里芋	一〇
山芋	一〇八〇	赤芋内地	一五
ツクネ芋内地	一二五〇	牛蒡	〇五
蓮根	一一四六	白大根「大連」	〇六〇八
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇〇九八	人參	〇三
生姜	一二〇	ウド	三〇
ワサビ	一六〇	内地葱	一〇八〇
玉菜	〇五	カブラ大小	一〇
馬鈴薯	〇三	水菜	〇八
ユリ子	二五五〇	同	
セリ内地	一五	ミツ葉大小	〇二五〇
春菊大連	〇三	ワケギ内地	〇五
林檎	一三〇	胡瓜内地	〇二五
天津梨	一五二	内地梨	一二五八
キーブル	四〇	ミカン	一五
		西瓜	二〇

電話（賣り物有り御希望の方は）三九五六へ

殉職警官の弔慰金募集

去る六日國都所京警備の尊い犠牲となられた日高、李兩刑事の英靈を弔し且つ遺族を慰藉する爲め左記に依り弔慰金募集を致しますから市民各位の厚き御同情を御願ひ致します

記

一、金額　制限なし
一、申込　地方事務所庶務係又は各區長へ御申込下さい
一、締切　三月二十五日限り
一、其他　領收證を發行せず、但し新京日報並新京日々新聞に御芳名を掲載して領收證に代へます

三月十四日

發起團体　地方事務所　商工會議所　地方委員會　各區長　居留民會

後援　新京日日新聞社　新京日報社

黒船往來

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第四十四回

山葱探査（六）

密林から抜け出した左京の姿を武七郎の方でも逸早くみつけ、瞳を輝かしながら聲をかけた。

『おゝ、夏川氏、大きな獲物が、これこのとほり……』

アイヌ娘を指で示してゐる。

左京は不審氣に路端のふたりのそばへあゆみ寄つた。

『夏川氏、山葱探査どころではない。面白い話がある』

近づいた左京の顔を見上げて武七郎は得意氣だつた。

『その女子についての面白い話かな』

『いかにも、この女子が實に重大なことを洩らしたのだ』

『はてね』

『われ／＼はこれよりふたゝびシリベシの山を越えなければならぬことに相成つた』

『小樽の濱へまゐるとでもいふのかな』

『おや……どうしてそれが？』

武七郎は驚いた。

『たゞ今、拙者もこの密林中で漁夫體の男に出會ふたが……』

『おゝ、それ／＼その男が、これなる女子を血眼になつてさがしあるいてをつたらう。そしてやはり小樽の濱へ參るのだといふたであらう』

『いかにも、江戸の大罪人を追跡して參ると、その男が拙者に告げて、たつた今別れたばかり……何はとまれ、その男をこれへ連れてまゐらう』

『いや、それはかへつて迷惑……實は、その大罪人といふのがこれなる女子の戀男なのさ』

『それで、そこもと、たかゞ女子のために幾山河を迷立つて小樽の濱までまゐるといはれるのか。拙者なら眞つ平だ』

じろり、鋭い眼を向けるとチブヌイは怖ろしさに身をすくめた。それを引取つて武七郎は意味あり氣に

『いや、早まつては困る。拙者とて他人の愛戀に同情してはる／＼小樽の濱まで逆行する阿呆でもないわ。面白い話といふのはそこのこと、つまりこの女を無事に高島領まで送り届るかたはら、その浦回で黒船を見物しようといふ寸法さ』

『なに！黒船？……オロシヤ國の黒船がシリベシの海を荒し廻つてゐるとでも……』

『オロシヤどころかフランス軍艦が公然小樽に碇をおろしてゐるらしい』

『うむ……』

血氣の左京は唸めいた。そして

『その漁夫體の江戸の探査が追跡する邪人といふのは、殊によるとフランス軍艦と氣脈を通ずるくせものかもしれんな』

『待て、それはいはぬが花さ。われ／＼は單に戀ふ男の許へこの女子を送り届てやればよいのう、チブヌイ』

老練な武七郎は、左京の短兵急さを押へて、たくみに話頭を轉じた。チブヌイはとみれば、たゞうなじを垂れてゐるばかり……。

『で、そこもと行くか』

武七郎は意中を眼で告げた。

『その黒船見物が……後學のためと行つてみても惡くはないが、このまゝすぐにか』

『もちろん、善は急げ！だ。このまゝ逆行さ』

『峠を越すと箱館だが……』

『ハヽヽ。箱館の奉行所役宅の疊が戀しいのか。だが、それよりか黒船の方がよほど珍らしいぜ』

『う、行かう。行かう。蝦夷地踏査の掉尾を飾る大變物にぶつかるかもしれん』

たうとう箱館へ手のとどくところまで來て、再び蠻地を奥深く逆行することになつた。

それにしても、この兩人の話のやうすでは、ただの北方の探險家でもないらしい。何か、もつと深い意義ある使命を帯びてゐるのか。